

新年家族例会



日時 平成31年1月27日(日)

場所 加古川プラザホテル

高砂青松ロータリークラブ新年家族例会

乾杯!

一同、ご一緒に!

本年もよろしくお願ひします!

高砂青松ロータリークラブ新年家族例会

わが国にとって、平成31年（2019）は御代替りの特別な年、新しい時代の幕開けとなります。ご承知のように、今上陛下が4月30日に譲位されます。退位礼正殿の儀といたしまして、陛下のご譲位を広く国民に明らかにする儀式であり、午後5時から正殿松の間で執り行われます。翌5月1日に皇太子殿下が新天皇となられ、剣璽等承継の儀といたしまして、三種の神器（皇位のしるし）である鏡・剣・玉や天皇の印章である「御璽」、日本国の印章である「国璽」を受け継がれる儀式が午前10時30分から、そして皇位につかれた旨を宣言される即位後朝見の儀が午前11時10分から、いずれも正殿松の間で執り行われます。そして、新しい元号となります。平成の次はどういう元号か気になりますが、政令により定められる元号は新天皇の署名手続きを経て、正式に公布されなければなりません。ところが、政府は4月1日に新元号を閣議決定し、今上陛下が政令に署名、そして官報への掲載をもって公布。元号を切り替える政令の施行日は5月1日とする方針を固めたと報道されています。改元によって国民生活に支障が生ずることがないよう、内定案を事前に予告発表することは容認できても、次代の年号を現天皇の署名手続きを経て公布するなどといった非常識なことが行われなことを切望します。廣瀬明正

米山 梅吉について

平成 31 年 1 月 16 日 (水)

今年は、日本にロータリークラブを創設した米山梅吉の生誕 150 年を迎えます。梅吉は 1868 年（明治元年）2 月 4 日に大和国高取藩士和田竹造の三男として東京芝田村町（現在の新橋付近）に誕生しました。

梅吉が 4 歳の時に父は他界し、母の郷里である三島に移った。母は伊豆三島神社の宮司の娘であった。神官は当時の知識階級でもあり、教養レベルの高い家庭環境で育ち 11 歳で三島の旧家米山家の養子になることが決められていた。



梅吉少年は、沼津中学に進学、幕府時代の沼津兵学校で地方とはいえレベルの高い教育機関であった。梅吉には文筆の才能があり後にはジャーナリストを志したほどだが、そうした基礎はこの頃に身につけたものであろう。

梅吉は悩みがあって東京に行ってさらに高いレベルの勉強をしたいという願望がありついに覚悟を決めて家出同然に米山家を飛び出した。東京で江南学校というところに入ったものの、ここでの勉強は沼津中学ほどの満足が得られず直ぐに退学をしてしまう。食べるためには働かなくてはならず、東京府の採用試験を受けて一時的に就職した。この頃に藤田四郎（後に貴族議員）という人物との出会いがあり、それがやがて梅吉の運命を大きく変えることになる。

米国では働いている間に学資を稼ぎながら大学に通えることを知り渡米しようという気持ちが膨らみ、明治 21 年に渡米することになる。

スクールボーイというシステムを利用して大学で学び 8 年間渡米生活をして明治 28 年日本が日清戦争に勝利した年に帰国した。梅吉は帰国後、米山家から春子夫人を迎えて家庭をもったので新聞社に職を求めたが給料が安いという理由で日本鉄道会社に就職する。しかし、ここでも給料が安いのでアメリカ人に日本語を教えたりして副収入を得るが、会社も辞めて藤田四郎に相談すると思わぬチャンスをくれた。

藤田四郎は、ときの財界の大御所ともいべき井上馨（初代伊藤内閣の外務大臣）の娘婿になっていた。その井上の口利きで紹介され明治 30 年三井銀行に入社が決まる。梅吉は実業方面の教育は受けていなかったため、当初は簿記も分からず困ったそうだが少しすると頭角を現した。

明治 31 年に欧米の銀行業務視察を命ざれ 1 年以上渡米することとなる。欧米出張後、社内での出世をして行き、明治 42 年に常務取締役役に就任し経営に当たった。

梅吉は、常に社会奉仕に情熱を傾ける人物であった。常務時代の訪米の折にロータリークラブの存在を知ると、その奉仕という理念に共鳴し、大正 9 年に日本初の東京ロータリークラブを発足させ、初代会長となる。

その後、昭和 12 年に私財を投じて緑岡小学校（現在の青山学院初等部ならびに幼稚園）を設立し、初代校長となっている。

昭和 13 年 12 月には、貴族議員に勅撰。以来、梅吉はライ病の療養所を度々視察するなど、東北から沖縄まで福祉活動の遍歴を続けた。

しかし、梅吉自身も徐々に前立腺肥大という病魔にむしばまれ、終戦直後の昭和 20 年 9 月に国会には登院しているが、無理がたたり翌昭和 21 年 4 月 28 日に郷里の長泉村別荘で 78 歳の生涯を閉じた。

梅吉は郷里への思いは消えることはなかった。昭和 6 年に同村小学校に図書館を寄贈し、1,000 冊の書籍も寄付をしています。村はこれを「米山文庫」と名付けて村が管理をした。

現在では毎年春になると、この町は「米山デー」を制定して何がしかの事業を行い、現在も米山記念館には町内の学童生徒がボランティア活動として清掃に訪れているそうです。

- ロータリー財団より
当クラブにエンド ポリオ ナウ『歴史をつくるカウントダウン』キャンペーン感謝状が届いております。これは、ポリオ撲滅活動に 1500 ドルを寄付したクラブに贈られるそうです。
- 地区より
(1) 1 月のロータリーレートは 1 ドル 112 円です。
(2) 地区大会の登録締め切りが 1 月 18 日迄延長されました、まだの方は登録をお願いします。
(3) 第 21 回『発達障害理解のための基礎と実践講座』開催の案内が届いております。
- 高砂市国際交流協会より
国際交流通信 1 月号が届いております。
- 幹事より
(1) 村上委員長のご令嬢が結婚されました。
(2) BANBAN1 月号に掲載された、新年挨拶の広告が届いております。ページに付箋を貼っていますのでご覧ください。
(3) 訃報が届いています、伊丹 RC 深川純一パストガバナーが 6 日ご逝去されました。弔電をさせて頂いております。後日お別れの会を行う予定です。



- 地区より
(1) 地区補助金プロジェクト見学訪問の案内が 2 件です。
・三木みどり RC
PJ 名 三木市在住外国人児童職業体験支援事業
・神戸東 RC
PJ 名 車いすテニスを通じた障害者と健常者の交流支援
(2) 11 月 3.4 日に開催された『ひょうご五国ワールドフェスタ』DVD が届いております。

大橋 卓司・青柳 淳・櫻井 宣孝
村上 則宏・田中 伸明・西中 亮二
中谷 利幸・京谷 慎平

都倉会員、本日の卓話楽しみにしています。皆様、風邪やインフルエンザが大流行していますのでくれぐれもご自愛のほどお願い申し上げます。

都倉 達殊

本日は卓話をさせて頂きありがとうございます。宜しく願い致します。

廣瀬 明正

やっと正月の行事もほぼ終わりました。本年もよろしくお祈りします。都倉会員の卓話楽しみにしております。

佐野 栄作

矢野先生、娘がお世話になりました。ありがとうございます。

西田 光衛

結婚記念日の御祝ありがとうございました。

志方 正昭・庄司 武・田中 浩行

柿木 國夫
花をかざりましょう。

坂口 嘉久・井野 隆弘

申し訳ありません。早退します。

大橋 卓司・青木 裕加・青柳 淳

伊藤 勝之・井野 隆弘・入江 啓太

岩崎 勇人・植杉 成一郎・内海 薫

大村 裕史・柿木 國夫・菊地 敬子

吉川 弘・京谷 慎平・小西 文孝

坂口 嘉久・阪本 徹也・櫻井 宣孝

佐野 栄作・澤田 孝彦・志方 正昭

庄司 武・砂川 仁史・田中 浩行

都倉 達殊・中谷 利幸・西田 光衛

西中 亮二・廣瀬 明正・増田 耕太郎

三枝 丈次・村上 則宏・森脇 祥文

新年家族例会を祝して。(1月27日)

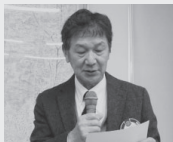


例会記録 2019.1.16 (水) 通算 1913 回

ソング 「奉仕の理想」「四つのテスト」

出席報告 1 2 月 1 9 日 会員数 4 3 名 欠席者 1 0 名 出席率 75.60% (修正による)

1 月 1 6 日 会員数 4 3 名 欠席者 1 3 名 実出席者数 3 9 名
(この内出席免除者 1 0 名) 出席率 66.66%



今月は『職業奉仕月間』ということで、出来るだけ“職業奉仕事例”をご紹介します。今回はR1第2600地区の上田ロータリークラブの「職業奉仕事例集」から。



より奉仕の気持ちが必要な高齢者との付き合い

(職業分類：歯科医)

高齢社会を迎えた昨今は、ご多聞に漏れず、高齢者が私達歯科医院の患者さんの多くを占めるようになってきました。新規の患者さんにもおられますが、30年来お付き合いのある、昔は淑女、青年だった患者さんが皆高齢者（老人）となってしまった事実は、実は自分自身（前期高齢者）に繋がっていることを認識させられます。

特に、診療の中で苦慮するのは、耳の遠くなった方、高齢者特有の話が超長い方とのコミュニケーションの取り方です。いずれも対応の仕方としては、良く話を聞くということになりますが、他の患者さんがおられれば、そちらだけに時間を割くという訳にはいきません。全く聞こえない方なら当然なのですが、筆談では難聴の方のプライドに差し障ります。翻ってみれば、自分の99歳の父の耳が遠くなり、会話すると喧嘩しているように聞こえる状態になるため、コミュニケーションを取るのが億劫になります。その難聴者との相互理解に大きな力を発揮してくれるのが医院内のスタッフ、特に、歯科衛生士です。むくつけき男の歯科医の登場よりは、自分より若い、優しい女性との話は弾み、それだけで心が安らんできておることがわかり、その後の診療は必要最低限のやりとりで済みます。また、患者さん、ご家族からの要望があれば、診療時間を割いて訪問往診に出向きます。診療体系の決まっている診療室内と違って、往診の際の条件は様々です。社会的には駐車場の問題、全身疾患との絡みなど多様性に富み頭を悩ませますが、ここでもスタッフの力は重大です。即ち、職場全体の総合力が重要です。

私、個人の職業奉仕を書こうと思いましたが、歯科医院という職場全体の総合力による高齢者への職業奉仕になってしまいました。



委員会報告 or その他連絡事項 et cetera

ポールハリスフェロー表彰

◇大村 裕史会員



◇ プログラム予定 ◇

1月 30日 (水)	職場例会【職業奉仕委員会担当】於：高砂医師会館	幕の内弁当
2月 6日 (水)	国際奉仕委員会担当卓話 瀨田 喜重会員	洋食弁当
2月 13日 (水)	クラブ奉仕委員会担当卓話 佐野 栄作会員	ミックスサンドイッチ
2月 20日 (水)	会員卓話 田中 申明会員	幕の内弁当

●●● 近隣クラブインフォメーションは、高砂青松ロータリークラブのホームページにてご確認ください。 ●●●

会長 大橋 卓司 幹事 青柳 淳 クラブ会報・広報・記録委員長 三枝 丈次

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室 (2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町 1104 電話 (079) 443-0500